

令和4年度 事業報告

I 概 況

我が国の令和4年度の経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続きました。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増していきました。

また、全国的に構造的な生産年齢人口の減少が続いている中、呉市も高齢化率が36.1%に達し、少子高齢化対策が喫緊の課題となっているため、政府の方針にもあるとおり高齢者世代を活用する施策の強力な展開が望まれます。

このような中、平成30年度の西日本豪雨災害後に回復した受託契約は、請負契約から派遣契約への移行と就業会員の高齢化やコロナ禍の影響と思われる受注減少により前年度を下回っております。

会員数の動向につきましては、減少に歯止めがかかっておりましたが、今年度は、企業の定年延長や再雇用制度の整備浸透などの影響が出てきたものと思われます。

今後ますます進行する超高齢化社会における社会的需要に応えて行くためシルバー事業の強化・充実に向けて、体制の整備とともに営業・企画力の底上げを図る必要があります。

○ 事業実績の推移

年 度 区 分		平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
会 員 数 (人)		662	665	665	669	633
就業実人員 (人)		525	512	481	477	459
就 業 率 (%)		79.3	77.0	72.3	71.3	72.5
受託事業	受 注 件 数 (件)	5,235	5,237	4,849	4,786	4,618
	契約金額 (千円)	304,912	318,312	303,332	297,305	291,313
	就業延人日 (人日)	59,905	59,890	56,618	55,362	53,758
派遣事業	受 注 件 数 (件)	11	13	16	21	21
	契約金額 (千円)	14,099	16,400	28,845	29,815	37,650
	就業延人日 (人日)	2,012	2,199	3,463	3,708	4,771

※ 派遣事業は公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会の事業です。

以下、主要事項について報告します。

1 会員の拡大

会員の拡大はシルバーの大きな課題の一つであり、減り続けている会員数に歯止めをかけるため、各種講習会の実施をはじめ広報、街頭キャンペーンによる啓発活動を推進し会員の勧誘に努めました。

今年度も、市役所本庁舎1階ロビーほか各市民センターフロアへ「シルバー広報チラシ」を配置するとともに、初めての試みとして「就業会員パネル展」を開催するなど、市民の方への広報に努めました。

今年度の入会者は79人、退会者は115人で、年度末の会員数は合計633人となり前年度末より36人減少しました。(該当する事業1―1・4―5)

2 就業開拓及び就業率の向上

就業開拓は、会員の拡大とともにセンターの維持発展のための大きな柱です。職員が事業所を訪問し、仕事の依頼を行いました。また、就業率の向上については、就業に必要な知識、技能を習得するための各種講習会を開催し、幅広い職種を選べるよう就業機会の拡大に努めました。

就業率は、72.5%で前年度より1.2ポイント増加しております。(該当する事業1―1)

3 独自事業の推進・開拓

独自事業については、「再生自転車の販売」事業を昨年度で廃止したため、新たな事業を開拓し独自事業の創生を図るため、研究・検討を行いました。(該当する事業1―1)

4 安全・適正就業の推進

安全就業は、シルバー人材センターにとって最も優先する課題です。

今年度も安全管理委員会を開催し、意見交換を行いました。また、安全管理委員と安全対策推進員等による就業現場への安全パトロールや各職群別に安全就業講習会を実施し、会員の安全就業に対する意識の高揚を図り、重篤事故等の防止に取り組みました。

交通安全については呉警察署交通課と連携し、自動車の交通事故防止に向けた講習を実施し、安全運転に対する行動を再認識しました。

また、会員の事故防止を啓発するため、安全標語の募集を行いました。

今年度の事故状況は、傷害事故10件、損害事故24件発生しました。前年度に比べ10件増加しております。

今後、安全就業について、より一層取り組みを強化し、事故防止に努力します。

適正就業については、法令遵守の徹底とともに、ローテーション就業の促進、長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。(該当する事業4―(2))

5 研修会・講習会の開催

シルバー会員の仕事に対する地域社会の信頼確保には、知識、技能の習得と向上は欠かすことの出来ない要件です。

会員の技能習得と新規会員の勧誘を目的として、「草刈機取扱い講習会」と「剪定講習会」を開催し、呉市の広報紙「市政だよりくれ」で募集した受講生にはシルバー加入を勧めました。

会員の技能向上のため、「パソコン・スマホ指導者養成講座」と飛び石による事故を撲滅するため、「草刈機作業安全講習会」を実施しました。

また広島県シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材育成事業による技能講習会に会員が参加しました。(該当する事業3)

6 労働者派遣事業の推進

シルバー事業の「臨時、短期、軽易」な仕事という基本に立ち返り、受託事業の自主点検による適正就業を遵守するとともに、業務の拡大に努めました。(該当する事業2—(2))

7 福祉・家事援助サービスの推進

一人暮らしや、高齢者世帯が年々増加し、また、女性の就労促進が課題となっている現在、福祉、家事援助サービス及び子育て支援等の業務の拡大や、それらに習熟した女性会員の拡充が重要です。

今年度も前年度に引続き、市が主催する「呉市生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体」に参加しましたが、受注実績は10件と思わしくなく、引き続き周知に努めます。(該当する事業1—1・4—(3)(4))

8 普及啓発活動の推進

毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、呉駅前周辺やゆめタウン前において街頭キャンペーンを実施し、チラシ・パンフレット等を配り普及啓発活動を行いました。

また、呉市の広報紙「市政だよりくれ」への記事掲載やシルバーの広報紙「呉シルバーだより」を発行するなど広報活動に努めました。

6月には呉医療センター附属呉看護学校の地域実習に協力し、学生と公園清掃就業会員が行動を共にすることで、シルバー事業の理解に努めました。

9月には呉海軍墓地合同追悼式に向けての長迫公園（旧呉海軍墓地）の清掃・剪定奉仕活動を行い、その記事が中国新聞朝刊に掲載される等、シルバー事業の普及啓発活動に努めました。(該当する事業4—(1)(6))

9 職業紹介事業の実施

発注者から求人を受け付け、発注者と協議を重ねる中で労働者派遣事業契約を締結したため、実績はありませんでした。(該当する事業2—(2))